

インテリア科	科目名	福祉とくらし(選択 A)	担当者	仲筋里和子
履修学科	情報技術科・デザイン科・インテリア科、2 学年			
履修学年	第 2 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	高齢社会の現在の日本において、福祉の重要性を理解し、「福祉住環境コーディネーター検定」にチャレンジすることによって、ユニバーサルデザインの精神を身に付ける。			
評価基準及び方法	定期テスト、小テスト、課題または提出物等を中心にし、授業態度や出席などを総合的に判断し評価する。			
使用教科書及び教材	福祉住環境コーディネーター検定試験 3 級公式テキスト（東京商工会議所編）。その他検定試験問題集、福祉住環境関連資料、住宅改修図面等			
その他留意点	実習やその他の授業に関連付けて学習する。			

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	オリエンテーション 総説 第 1 章 暮らしやすい生活環境を目指して	1 年間の授業内容を理解 福祉住環境の概要について理解 第 1 節 少子化高齢社会と共存社会への道 1. 少子高齢社会の現状と課題 2. 地域社会全体の取組みの必要性	
5		第 2 節 福祉住環境整備の重要性・必要性 1. 日本の住環境の問題点 2. コーディネーター	
6		第 3 節 在宅生活の維持とケアサービス 1. 高齢者の自立した生活を支える介護保険制度 2. 障害者自立支援のしくみ	
7		第 4 節 健康と自立を援助する関連専門職 ①医師（かかりつけ医）②看護師・保健師③理学療法士・作業療法士 ④社会福祉士⑤ケアマネージャー⑥福祉住環境コーディネーター⑦福祉用具専門相談員	
9	第 2 章 健康と自立をめざして	第 1 節 健康と自立 1. 高齢者の老化のとらえ方 2. 元気な高齢者 3. 高齢者の運動の目的と方法 4. ヘルスプロモーション 第 2 節 障害者が生活 1. 障害者の自立方策 2. 障害をもつ人が在宅生活可能にする要因	
10	第 3 章 バリアフリー、ユニバーサルデザイン	第 1 節 バリアフリー、ユニバーサルデザイン 1. バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方	
11		第 2 節 生活を支えるさまざまな用具第 1. 生活のなかの問題点と用具の活用 第 3 節 介護保険制度と福祉用具 1. 介護保険制度の対象となる福祉用具	
12	第 4 章 安全・快適な住まい	第 1 節 安全・快適な住まいの整備 1. 屋外移動外出 2. 屋内移動 3. 水周り 4. 清掃・洗濯・調理 5. 起居・就寝	
1	第 5 章 安心できる住生活とまちづくり	第 1 節 ライフスタイルの多様性と住まい方 1. ライフスタイルの多様化と高齢期の住まい方 第 2 節 安心できる住生活支援 1. 高齢者や障害者に対応した住居・住環境整備	
2		2. 少子化社会応じた住宅・住環境整備 3. 安心で豊かな生活の実現に向けて	
3	第 3 節 安心なまちづくり 総まとめ	1. まちづくり 2. まちづくりを進めるための諸法制度 1 年間の学習のまとめ	